

1. 研究課題名：B-1007 海ゴミによる化学汚染物質輸送の実態解明とリスク低減に向けた戦略的環境教育の展開

2. 研究代表者氏名及び所属：
磯辺 篤彦（愛媛大学）



3. 研究実施期間：平成 22～24 年度

4. 研究の趣旨・概要

本研究では、複数海岸に設置したウェブカメラ画像を解析してゴミ漂着量の時系列データに変換する。加えて、海流や漂流物のコンピュータ・シミュレーション、さらには海岸漂着ゴミに含有・吸着した化学汚染物質(有害重金属や残留性有機汚染物質[POPs])の分析調査を行う。これらによって、東アジアにおける、発生源から漂着海岸までの海ゴミ輸送やゴミを介した化学汚染物質輸送のフローマップ、すなわち発生量・移動量・漂着量の分布図を作製する。また、地域住民と地域行政、そして NPO や研究者が参加するサイエンスカフェにて、研究成果を地域住民と行政に還元するとともに、継続的な海ゴミ調査・清掃活動体制の構築を図る。

5. 研究項目及び実施体制

- ①数値モデルとウェブカメラ網による海ゴミ輸送量解析(国土技術政策総合研究所)
- ②海ゴミを介した化学汚染物質輸送の定量評価(愛媛大学)
- ③海ゴミリスクの低減に向けた環境教育スキームの構築(九州大学)

6. 研究のイメージ

B-1007 海ゴミによる化学汚染物質輸送の実態解明と

リスク低減に向けた戦略的環境教育の展開

